ついじまつ

COMMUNICATION

ついじまつコミュニケーション：築地松情報誌1998．1月　発行―築地松景観保全対策推進協議会

第4号

築地松物語

やさしく、懐かしい、日本のふるさとforever がここにある

新しい築地松景観の創出

飛行機が出雲平野を一周して空港に到着するとき、窓外に展開する築地松散居村の風景はまるで絵のようで、さながら神々の国に来たという実感と重なりあう。屋敷の西側と北側を一双の黒松の屏風で囲み、そのなかに住居が建っている。機内の乗客から思わず歓声がもれる。しかし、空港に降りてクルマに乗り、地上から築地松住居を眺めるとき、乗客たちは少なからず失望するだろう。なぜか。それは第一に、幾何学的に刈り込んであるはずの美しい築地松が見えないからだ。マツクイ虫の被害にあって、ほとんど枯れてしまったのだ。残っているのはマテバシイのような雑木と低木の生垣だけ。本来、北西の季節風を防ぐためのものであった築地松は、サッシュの出現によってその必要性が著しく低下した。冬場に落ちる枯れ松葉は、大切な燃料であったが、今ではまったく要らなくなった。むしろ樋につまるやっかいものになった。そのため、積極的に若松を補植して、築地松を再生させようとする人は少ない。第二に、築地松住居のほとんどが瓦葺き二階建てに建てかえられた。今から五十年くらい前には、村の家々はほとんどが藁や萱葺きであった。屋根にもジクダレ、箱棟、シコロなどいろいろの形があり、バラエティに富んでいたが、それらが築地松の高さと絶妙にバランスがとれ、また、風雪に耐えて重厚味を増し

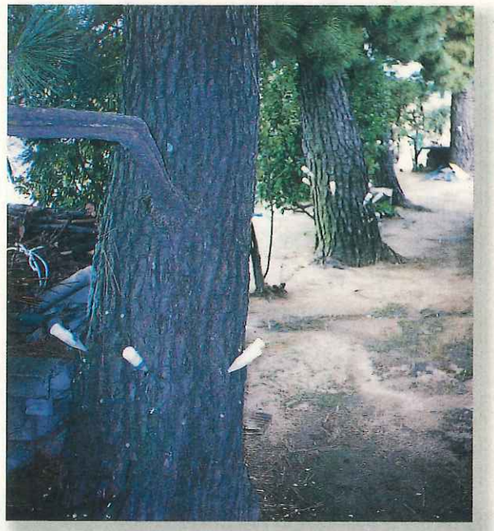
TOWN INFORMATION [タウンインフォメーション]

各市町村の築地松情報をお伝えします。

第3回 平田市 Hirata

築地松の保全をめざして

平田市で築地松のある家は約300戸、約1300本です。（平成6年度調査）松くい虫の被害が広がる前は約800戸あったといいますから、すでに半分以下になっています。平田市では、この築地松の保全を目的として、平成6年から平田市築地松特別保全事業を行っています。これは松くい虫の予防のための薬剤処理や枯れ松の切り倒し等に補助金（補助率1/3）を出すもので、県の築地松景観保全対策協議会の補助金（補助率1/2）と使い分ければ、陰手刈り等多額の費用がかかるものは4年に1回の協議会の補助金で、毎年のものは市の補助金で、ということができるようになっています。現在本市には18の築地松景観保全住民協定があり、昨年度協議会から補助を受けられた方は42人、市から補助を受けられた方は38人で、築地松保全における住民の意識の高さを物語っています。



▲松くい虫予防薬剤を松の幹に注入し築地松の維持を図っています。
▼平田市上空から見た斐川平野の様子。築地松のある家が点在する独特な景観となっています。

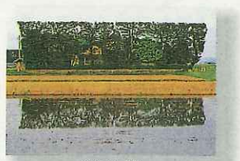
HIRATA NATURE SIGHT

平田市は、恵み豊かな日本海と夕日に映える宍道湖に面し、往時は行き交う商船で賑わった平田船川、伝説の伝わる斐伊川が流れる水の街です。この豊かな風土と、それに育まれた築地松の景観は、共に私達の大切な財産です。

日本海漁火

平田船川

出雲平野


築地松

築地松サイクリング'97

爽快！築地松の散歩道

219人、秋風の中を快走
10月26日（出雲川跡河川公園）

築地松景観保全対策推進協議会では、サイクリングを通じて、「築地松景観」への関心と、この美しい景観保全を、皆様と共に考えようと昨年にひきつづき大好評だった「築地松サイクリング'97」を開催しました。当日は強い風が吹きましたが、出雲市・平田市・斐川町・大社町の各地点からスタートしました。途中、コースごとに築地松を大切に守り、育てておられるお宅を見学させてもらいました。その後、川跡河川公園に集合し、全員参加の記念写真撮影やゲームを楽しんだ後、温かい豚汁や、おにぎりで和やかなひとときを過ごしました。

参加者の声

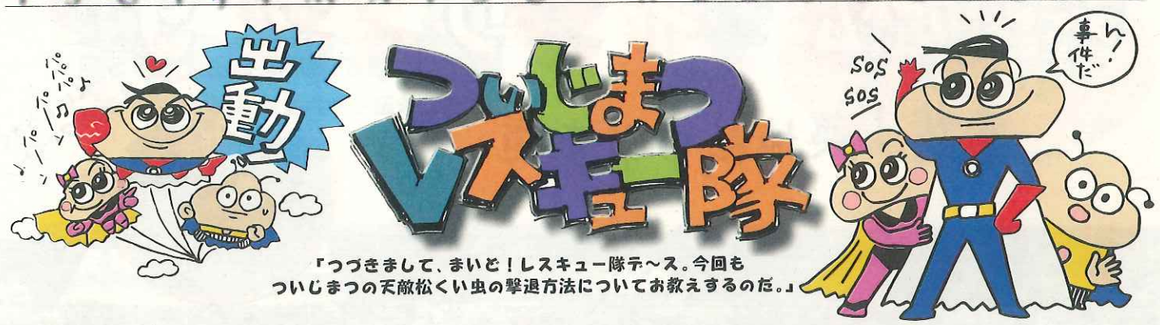
●平田市サイクリング隊 VOICE
黒崎静枝さん
お孫さん（みづきちゃん7才）との参加でした。
私は、自転車に乗るのが好きで、晴れた日にはよく孫（みづきちゃん）と自転車で買い物に行きます。築地松サイクリングには初めて参加をしました。風が強く大変でしたが、改めて築地松を見直し素敵な風景だと思いました。一生懸命完走した孫はサイクリングのことを日記に書いて、先生にほめていただきました。

●大社町サイクリング隊 VOICE
周藤健治君
康治君　活発で仲よしな双子の兄弟です。
去年は2人で参加をしたけど、今年は友達3人も誘って参加したよ。クラブ活動では、剣道をしているけれど、自転車も大好きで、マウンテンバイクも持っているよ。築地松サイクリングはとても楽しかったです。ぼくの家には築地松があっておじいさんが手入れをしていて、ぼく達が生まれる前からずっとあったとよく話してくれるよ。

●出雲市サイクリング隊 VOICE
田中要三さん
サイクリング歴30年のベテランさんからの感想です。
今回の築地松サイクリングはとても良い思い出になりましたよ。私の家には築地松はありませんが、今回色々な家の築地松を見ながら、保存のための苦労話などを聞かせてもらい、とても参考になりました。築地松は昔はもっと沢山ありました。少なくなっていくこの松を皆で関心を持って、残す努力をしていきたいですね。

●斐川町サイクリング隊 VOICE
山根繁一さん
今年87歳、「マメが一番」を合言葉に野球・テニス・剣道ウオーキングを楽しんでいらっしゃるスポーツマンです。
サイクリングは昨年に引き続きの参加です。風が強かったのですが、楽しい1日となりました。岡さん宅の立派な築地松を見学をさせてもらって勉強になりました。私は、3年前にこちらに帰郷したばかりですので、他の地域では見られない築地松のある風景は趣深く感じられます。私の家にも築地松があり、虫が付いたり大変ですが、大切に守っていきたいものですね。

TSUIJIMATSU RESCUE TEAM



松くい虫を防除する(3)

ー予防・その2(樹幹注入法)ー

1 目的

殺線虫剤を幹に注入して松全体に拡散させておきます。松くい虫を媒介するマツノマダラカミキリがその松の枝の樹皮を食べ、その食べ痕から病原のマツノザイセンチュウが侵入しても、枝まで浸透した薬剤によって病原線虫は殺され、松の発病枯死を防ぐことができます。

2 方法

つぎのいずれかの薬剤を注入します。

薬品名	期限
①ネマノーン注入剤(メスルフェンホス(50%))	1年
②グリーンガード・エイト(酒石酸モランテル(8%))	2年
③センチュリー注入剤(塩酸レバミゾール(8%))	2年
④メガトップ(ネマテクチン(3.6%))	3年

11月から翌年3月までに樹幹注入剤を注入します。幹の下部に木工用ドリルで斜めに穴を開けて注入しますが、薬液が樹皮下の形成層へ滲み出ないよう注入口を深く、堅く穴に差し込みます。木の大きさによって薬量と穴の数を変えますが、その量・数は使用する薬剤の種類によって異なります。薬液を注入後アンプルやノズルを抜き取り、あけた穴には殺菌剤のトップジンMペースト(チオファネートメチル塗布剤)を塗布し、雨水などが入らないようにコルク栓などで軽くふたをしておきます。注入には技術を要するので、「注薬士」(森林組合や造園業者など)に依頼するのがよいでしょう。

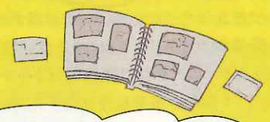
3 留意点

予防法ですので、すでに松くい虫で葉の色が変わり始めた松に注入しても効果はありません。また、10年生以下の小径木では薬害が生じることがありますので使用しない。

♪築地松伝言板♪

◎マスコットキャラクターネーミング
募集!!

◎築地松の昔の写真をお貸し下さい!!



このCOMMUNICATION誌をご覧になったご意見・ご感想をお寄せ下さい。粗品を進呈します。

協議会各窓口またはインターネットホームページで受け付けています。

新しく築地松のホームページを開設しました!!

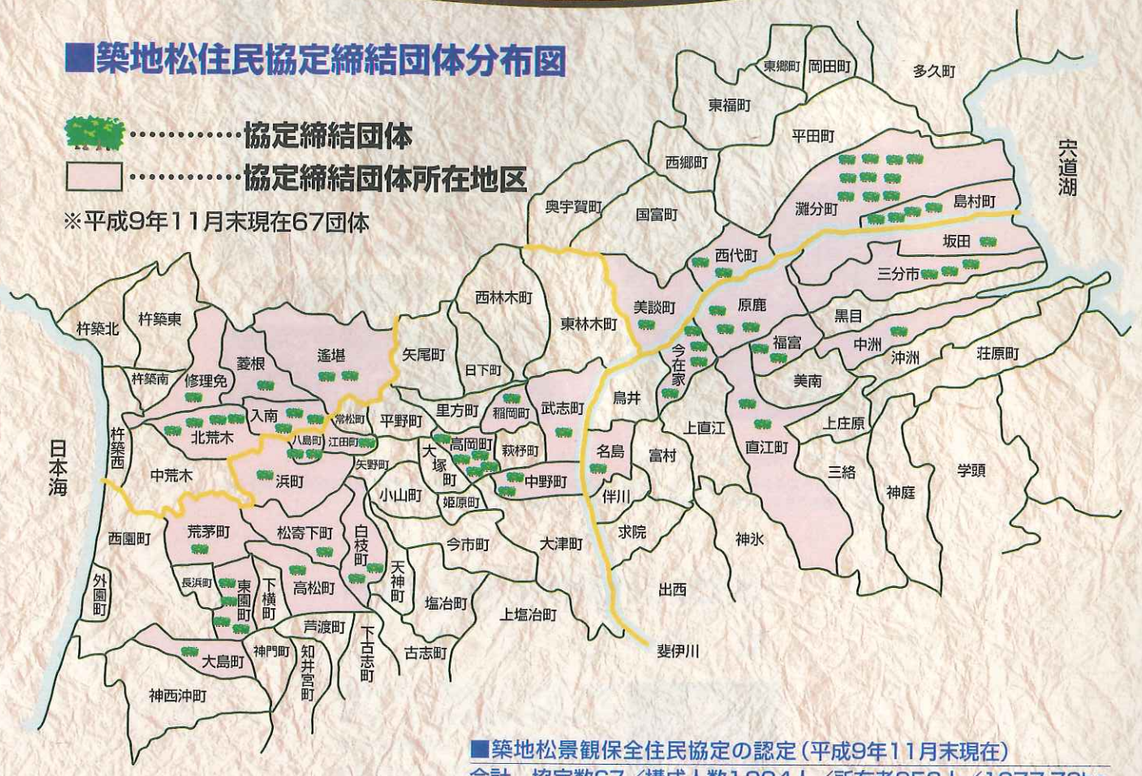
アドレス
http://www.pref.shimane.jp/section/keikan/

築地松景観保全対策推進協議会とは

出雲平野の「築地松散居景観」を保全するため、平成6年5月に島根県、出雲市、平田市、斐川町、大社町及び住民代表を構成員として発足させました。協議会では広報誌、イベントなどを通して普及啓発を図ると共に、一定の区域を設定した、全員参加による築地松景観保全住民協定を設け、築地松の維持管理費の助成などの保全対策事業を展開しています。

■築地松住民協定締結団体分布図

……協定締結団体
……協定締結団体所在地区
※平成9年11月末現在67団体



■築地松景観保全住民協定の認定(平成9年11月末現在)

合計　協定数67／構成人数1,204人／所有者953人／1077.73ha

出雲市

22協定構成人数 228人
(うち所有者)227人

面積199ha

平田市

17協定 構成人数 476人
(うち所有者)303人

面積390.2ha

斐川町

17協定構成人数 374人
(うち所有者)297人

面積409.83ha

大社町

11協定 構成人数 126人
(うち所有者)126人

面積78.7ha

■築地松助成金の交付(平成8年度)

合計　助成人数144／助成金支出額 4,536,360円

出雲市

助成人数
32人

助成金支出額
806,230円

平田市

助成人数
42人

助成金支出額
1,520,530円

斐川町

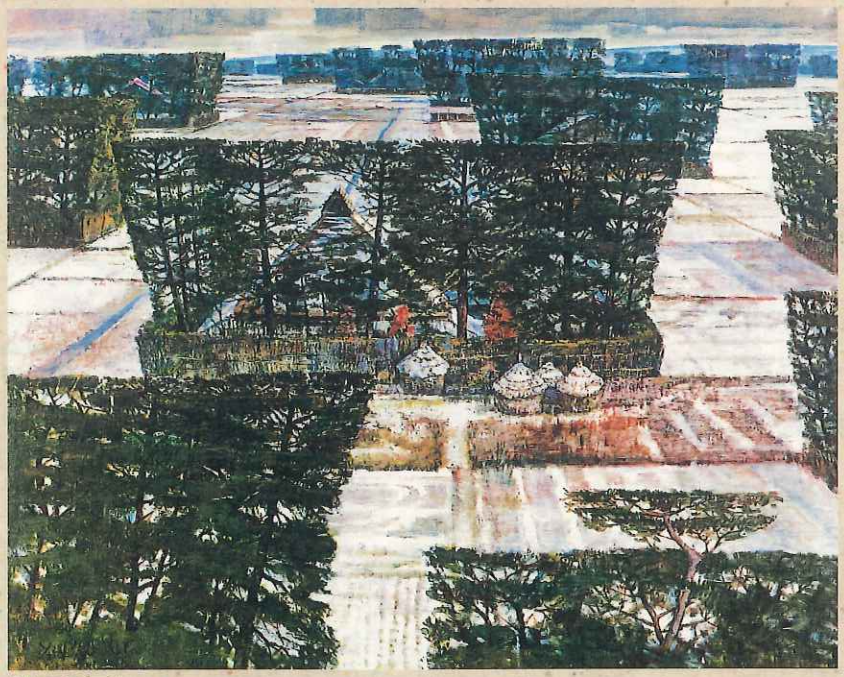
助成人数
43人

助成金支出額
1,124,950円

大社町

助成人数
27人

助成金支出額
1,084,650円



「冬の田園」
白潟吉堯　洋画家　島根県松江市在住

青銅会会員、春風会会員、一水会会員（委員）、日展会友、一水会展、日展等で連続の入選。山陰初の一水会会員（委員）に選出される。四季折々の出雲平野をテーマに、情緒豊かな作品を描いている。

ついじまつCOMMUNICATION

風のたよりに

今回、築地松を守り継いでおられるお宅を訪問する機会を得た。これまで当地を訪れる度に、築地松の立派な姿に魅了されたものだが、内側から向き合ってみて、そのすごさには圧倒された。これはただの風よけではない。美しさといい、機能性といい、目をみはるばかりだ。出雲には、自然と人間が仲のよい時代に、非常に文化度や、民意度の高い先人たちがいたにちがいない。そして、今もなお、その教養が連綿と引き継がれているのだから、この地の豊かさは半端ではない。僕も八ヶ岳で植林を行なっているので、とても良いものを見せてもらったと感謝をしている。自然と人間の仲のいい風景をありがとう。

柳生　博（やぎゅうひろし）
俳優。三瓶自然館名誉館長。ベテラン男優として活躍中。森林にひかれる自然愛好家でもあり、昭和50年より八ヶ岳にある山荘に通う。NHK「生きもの地球紀行」にレギュラー出演。著書に「八ケ岳倶楽部 森と暮らす、森に学ぶ」他の出版がある。

築地松景観保全対策推進協議会

島根県環境生活部景観自然課	〒690-0887	松江市殿町1番地	電話0852-22-6143
島根県出雲総務事務所	〒693-0011	出雲市大津町1139	電話0853-23-1515
出雲市建設事業部建築課	〒693-0003	出雲市今市町109-1	電話0853-21-2211
平田市建設経済部農山漁村課	〒691-0001	平田市平田町951-1	電話0853-63-3111
斐川町企画財政課	〒699-0502	斐川町大字荘原町2172	電話0853-73-9211
大社町企画課	〒699-0711	大社町大字杵築南1395	電話0853-53-3112

表紙写真撮影「冬の日」佐藤正美（斐川町）